

## 1. はじめに

シラバス (syllabus) とは、講義等の概要、要旨、教授細目などのことを指しており、この講義概要 (シラバス) では、2017 年度にスポーツ健康学部で開設されている科目における概要情報が WEB に掲載されています。※2016 年度から WEB シラバスのみです。

## 2. シラバスの見方

各科目のシラバスは、項目別に説明がされています。各項目の見方については、下記を参照にしてください。

### (1) 講義情報

#### a. 科目名

科目によってはクラス指定があります。科目名のあとの ( ) カッコ内はクラスを示します。クラスによって講義内容が異なる場合もあるので注意してください。

#### b. 教員名

科目担当教員が記載されています。総合英語や体育実技科目など、同一科目でも担当教員が異なる場合がありますので、必ず時間割表でもあわせて確認してください。

#### c. カテゴリ

その科目が配当されている科目群名が記載されています。

#### d. 開講時期

開講されている時期を表しています。1 年通して開講されている科目は「通年」、半期だけ開講されている科目については、「春学期」、「秋学期」いずれかが記載されています。

#### e. 配当年次

履修できる学年を表しています。「1～4」のように複数の学年で表される場合は、いずれの学年で履修しても構いませんが、「1」や「2」のように単一の学年で表される場合には示された学年で単位を修得するようにしてください。万が一単位を修得できなかった場合、翌年度以降に再履修をすることは可能ですが、主に専門科目における授業理解に影響が及ぶこともありますので注意してください。

#### f. 単位

その科目を修了することで習得できる単位数を示しています。取得できる単位数の考え方は下記の通りです。

- 半期講義科目：2 単位                      ■ 通年講義科目：4 単位
- 半期実技・実習科目：1 単位            ■ 通年実技・実習科目：2 単位

\* 講義と実技の両方を行う科目については、通年で 3 単位以上付与することもある。

#### **g.曜日・時限**

開講されている曜日と時限を表しています。同一科目名でも曜日・時限が異なる場合がありますので、必ず時間割表でもあわせて確認してください。

#### **(2) 授業の概要と目的（何を学ぶか）**

該当科目の授業概要及び授業の目的・意義を簡潔に示しています。

#### **(3) 到達目標**

授業の概要と目的と関連して、授業が終了した時点で、どのような知識・技能・態度を身につけていることを教育目標としているかについても記載するよう努めています。

#### **(4) 授業の進め方と方法**

授業形態（講義，演習，実習等），授業内での発表，課題解決型学習（PBL），校外実習，リアクションペーパーの提出等，授業の進め方・方法について記載するよう努めています。

#### **(5) 授業計画**

各回の「テーマ」「内容」を明記しています。なお，計画については，授業の進行具合や受講学生の興味・関心に合わせて適宜変更することもあります。

#### **(6) 授業外に行うべき学習活動（準備学習・復習・宿題等）**

各回の授業を行うにあたり，授業計画をみて事前に学んでおいた方がよい知識・情報が必要と思われるものについて記載されています。また，準備学習・復習・宿題等の内容を具体的に記述するよう努めています。

#### **(7) テキスト（教科書）**

テキストには，授業内で実際に使用する教科書を明記しています。授業開始前までに必ず準備してから授業に臨んでください。

#### **(8) 参考書**

参考書は，必ずしも授業内では使用しませんが，授業内容に関連して読んでおいたほうが良い文献を提示しています。

#### **(9) 成績評価の方法と基準**

出席点・平常点・期末試験・小テスト・レポート課題・宿題など，要素ごとの配分を示し，学生の皆さんがどのように取り組めば，高い評価を得られるのかが把握でき，効率的な学習計画を立てられるよう配慮しています。

#### (10) 学生の意見（授業改善アンケート等）からの気づき

各授業最終回までに実施される「授業評価アンケート」の結果から、教員が気づいた事や、授業改善方針など学生の皆さんへメッセージを掲載しています。ただし、事情によりアンケート未実施となってしまった科目や担当教員の変更などにより、未記載となることもありますのでご了承ください。

#### (11) 学生が準備すべき機器他

授業支援システムなど、授業内での情報機器使用の有無について掲載されている場合があります。

#### (12) その他の重要事項

上記項目以外に必要とされる情報があれば、記載されている場合があります。

### 3. Web シラバスについて

今年度から Web 上でシラバスを閲覧する必要があります。アクセス方法は以下の通りです。

#### ■ アクセス方法

インターネットエクスプローラなどで次のサイトにアクセスして下さい。

<https://syllabus.hosei.ac.jp/>

科目選択をする上で、必要に応じて利用して下さい。科目別や教員別などで検索がかけられるため目的のシラバスを探すのが容易となっています。

### 4. 注意事項

- (1) 教職・資格関係科目の履修を希望する学生は、別冊の『教職・資格課程履修要綱』を参照してください。
- (2) 『スポーツ健康学部履修の手引き』『スポーツ健康学部時間割表』をあわせて参照し、履修上のルールをしっかりと確認するようにしてください。
- (4) 2013 年度から入学年度によって履修可・不可な科目や、同じ科目でも入学年度によって科目名称が異なる場合があります。時間割表などで確認して履修してください。

## 5. シラバスのナンバリングについて

「ナンバリング」は、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示するための仕組みです。

本学では本学で開講するすべての科目に8（または9）ケタのナンバリング（共通フォーマット）が振られています。なお、学部によってはさらに詳細な番号を枝番として振っている場合もあります。

### 「共通フォーマット」ナンバリング付番ルールについて

ナンバリング（共通フォーマット部分）は以下のルールにより付番されています。

(1) ナンバリング（共通フォーマット部分）の構造（9ケタ 小分類がない場合は8ケタ）

<b>A B C a</b>	<b>1</b>	<b>0 0</b>	<b>D E</b>
↓	↓	↓	↓
①	②	③	④
<b>分野</b>	<b>レベル</b>		<b>科目主</b>
なお、4桁目（小文字） は、小分類がある場合に 使用する	なお、2・3桁目③は 必要に応じて科目識 別のための連番とし て使用する		<b>催</b>

### ①分野

分野略号 (大)	分野略号 (小)	分野	
BSP		初年次教育、学部導入教育及びリテラシー教育	基礎ゼミ、入門ゼミ、〇〇学入門など
IDN		アイデンティティ教育	法政学など
CAR		キャリア教育	キャリアデザイン入門、インターンシ ップなど
PRI		情報学基礎	情報学
HSS		健康・スポーツ科学	複合領域
ARS	1	地域研究(援助・地域協力)	総合人文社会
GDR		ジェンダー	

分野略号 (大)	分野略号 (小)	分野	
PHL		哲学	人文学
ART		芸術学	
LNG		言語学	
LAN	e	英語	語学教育
LAW		法学	社会科学
POL		政治学	
ECN		経済学	
MAN		経営学	
SOC		社会学	
PSY		心理学	
EDU		教育学	
MAT		数学	総合理工・数物系科学
SOM		社会医学	医歯薬学
CIM		内科系臨床医学	
CLS		外科系臨床医学	

## ②レベル設定

学部	100 番台	●基礎的な内容の科目（主として、1年次に開講される科目など）
	200 番台	●応用的な内容の科目（主として、2年次に開講される科目など）
	300 番台	●発展的な内容の科目（主として、3年次に開講される科目など）
	400 番台	●より専門性に特化した、300番台より発展的な内容の科目 （卒業論文、卒業研究、卒業制作関連の科目など）
	500 番台	その他（海外留学を内容とする科目、レベル分けできない科目等）

## ③科目主催コード

### 【学部】

授業の主催学部・学科名	コード
スポーツ健康・スポーツ健康学科	IA

以上  
スポーツ健康学部  
事務課